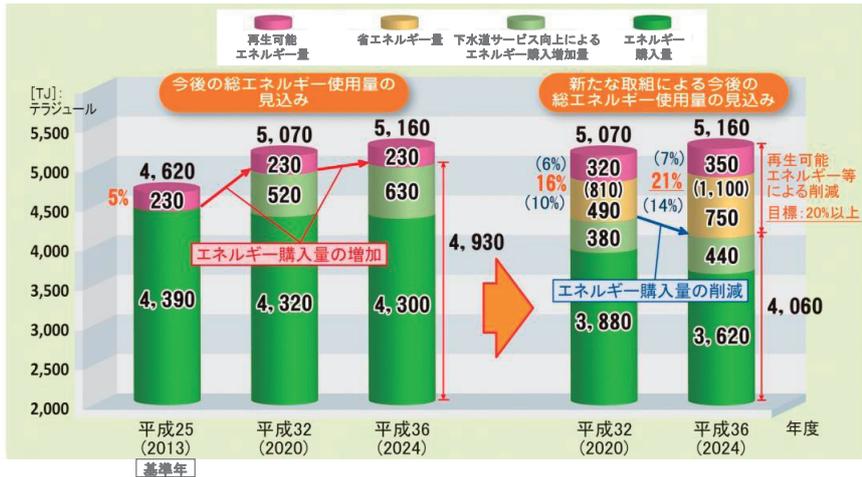


ネクサス部門

下水道事業初のエネルギー基本計画「スマートプラン2014」の策定

東京都下水道局

●今後の総エネルギー使用量の見込みと再生可能エネルギー等の取組



●スマートプラン2014の目標、計画期間

取組を確実に実施していくため、目標、計画期間を明確化

・目標
総エネルギー使用量に対する再生可能エネルギー等の割合を**2024（平成36）年度までに20%以上**とすることを旨す

・計画期間

2014（平成26）年度から2024（平成36）年度まで

●4つの取組方針

下水道事業におけるエネルギー活用の高度化及びエネルギー管理の最適化を図るための4つの取組方針

取組方針1 再生可能エネルギー活用の拡大

取組方針2 省エネルギーの更なる推進

取組方針3 エネルギースマートマネジメントの導入

取組方針4 エネルギー危機管理対応の強化

PRポイント！

東京都下水道局では、多くの下水道施設を管理し、24時間365日休むことなく稼働させ、安全・安心で快適な東京の都市づくりに貢献しています。こうした下水道サービスの提供により、**現在都内の年間電力使用量の1%強にあたる電力に加え多くの燃料を使用しています。**今後も浸水対策の強化など、より質の高い下水道サービスの提供に伴い、**エネルギー使用量の増加が見込まれています。**さらに、東日本大震災時に電力需給ひっ迫への対応を余儀なくされたことを受け、**危機管理の強化を図る必要があります。**

こうしたことからエネルギー対策の大きな転換を図るため、**下水道事業初のエネルギー基本計画「スマートプラン2014」を策定し、下水道事業におけるエネルギー活用の高度化やエネルギー管理の最適化を推進していきます。**

Key Person



カーボンマイナス推進
担当課長
小池 利和

これまでも設備の再構築に伴い、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、着実に下水道事業のエネルギー使用量の削減を図ってきました。

今後の下水道サービスの向上とエネルギー購入量の削減を両立させるため、2013（平成25）年度を新たに基準年とした、エネルギー削減に対するより高い目標を設定し、再生可能エネルギー活用の拡大に加え、省エネルギーの更なる推進を、積極的に進めていくことを当プランのポイントとしています。